

# 地域防災拠点における 『災害時ペット対策』への取組み

令和4年10月8日  
青葉福祉保健センター  
生活衛生課



## はじめに

### ➤ ペット同行避難の意義

放浪動物による人や生態系等への悪影響防止、被災者の心のケア等のため

### ➤ 区内には多数のペットが飼育

区内には市内最多の約**1.6万**頭の犬が登録。猫や鳥、小動物などを含めるとさらに多くのペットが飼育されている。

**→大規模災害発生時には多くの被災者がペットを連れて避難する可能性がある**



# 拠点へのペット同行避難数（推計）

青葉区の被害想定（元禄型関東地震）

	現状棟数	建物被害		人口	人的被害		
		揺れ、液状化、崖、津波	焼失棟数		死者数	負傷者数（重症含む）	避難者数
青葉区	61,200	1,141	36	<b>304,000</b>	5	147	<b>7,834</b>

横浜市防災計画震災対策編2021より

## 登録犬の分布

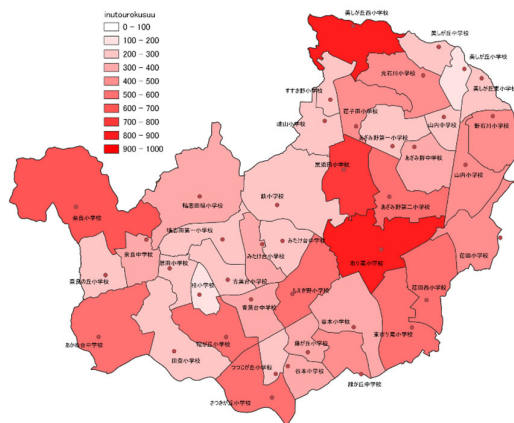
犬猫の数（猫も犬と同数として）：3.2万頭 ①

避難者数：7,834人 ②

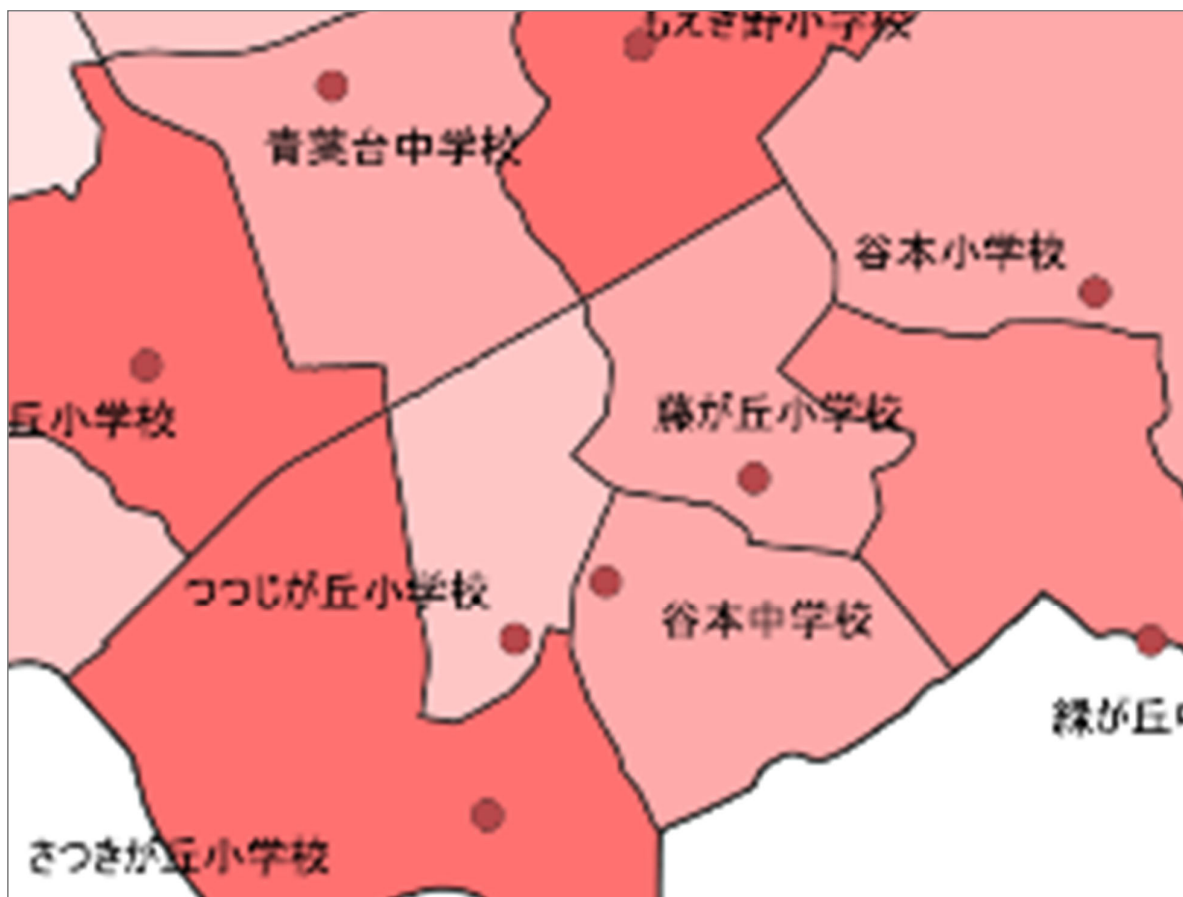
人口：304,000人 ③

地域防災拠点数：41拠点 ④

①×②÷③÷④≒平均**20**頭程度



## 谷本中学校地域防災拠点（犬猫15頭～）



# 避難所生活は・・・



避難所では、様々な人が避難し共同生活を送る。  
被災者とペットが同じ場所で避難生活を送ると・・・



ペットの鳴き声、臭い、アレルギー症状、排泄物等  
**様々な問題が発生**

## 問題を防止するために

発災時の混乱を防ぐために、日頃からの検討が大切



### ① 飼い主の備え

飼い主の明示、備蓄、しつけ、健康管理  
預かり先確保、**飼い主同士の共助** 等

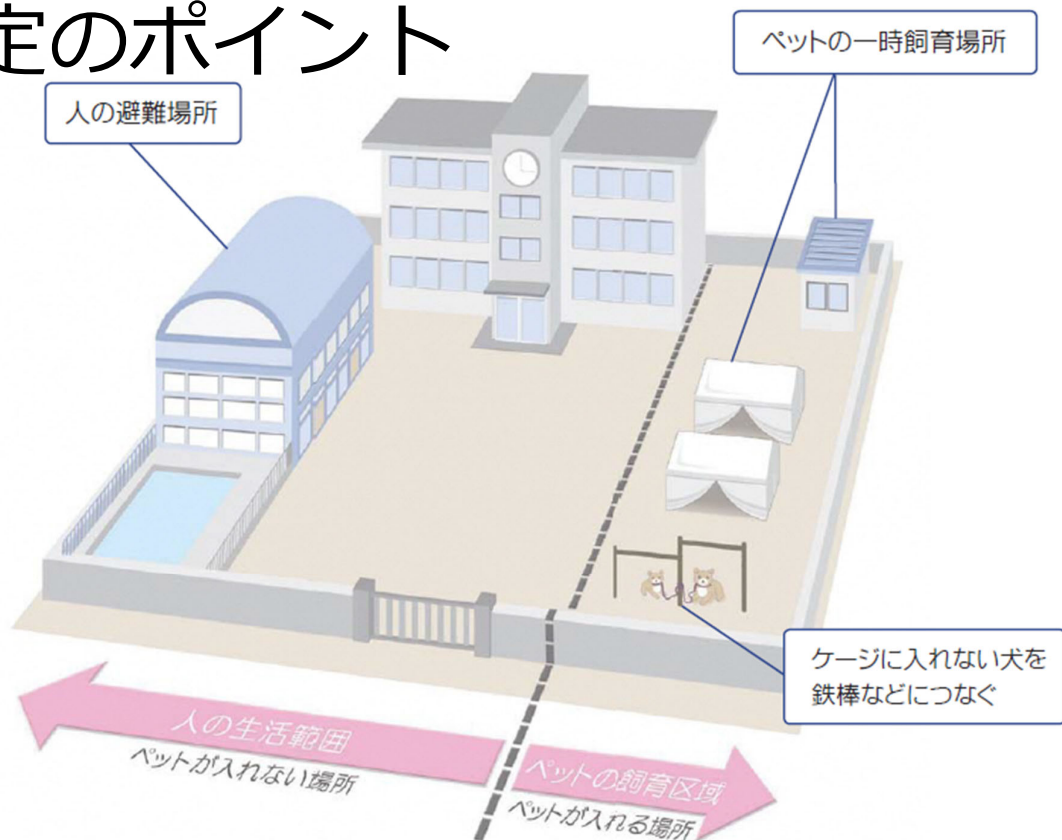
### ② 地域防災拠点での備え

○ペットの一時飼育場所の設定

飼育ルールの設定

拠点訓練等での取組

# ペットの一時飼育場所 設定のポイント



**ペットは人の生活場所とは別の場所で管理**

## ペットの一時飼育場所 設定のポイント

- 地域防災拠点運営の支障とならない
- 部外者や子供の立入制限がかけられる
- 直射日光や風雨をしのぐことができる
- 清掃が行いやすい（水場が近いなど）
- 鳴き声や臭いが少ない場所
- 係留できる支柱やフェンスがある場所  
（原則ケージ）

※これらすべてを必ず満たす必要はありません。

# ペットの一時飼育場所事例集

## 災害時ペットの 一時飼育場所設置事例集

令和2年5月15日  
横浜市動物愛護センター

➤ 動物の飼育小屋

➤ 近隣公園※

➤ 校庭

➤ 校舎裏や周辺施設

※目が届きにくいケースが多く、また災害時には資材・廃材の置き場となったり、仮設住宅が建設されることもあるなど、災害のケースや発生後の状況変化により場所や時限的な制限が生じる可能性。



# 役立つツールのご紹介



災害時のペット対策



【動画】横浜市地域防災拠点におけるペット災害対策

その他、一時飼育場所の事例集や一時飼育場所開設運営マニュアル案など役立つツールを横浜市動物愛護センターホームページに掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/pet-dobutsu/aigo/saigai-taisaku/disaster.html>

